

頼りにしてます



第3ブロック合同訓練が3月16日、三野グラウンドで実施されました。第3ブロックとは、徳島県を3つのブロックに分割し、相互に助け合う協定があり、みよし広域連合はこの第3ブロックに属しています。

医師会、警察、消防署、消防団などが参加し、大規模交通事故が発生したとの想定で、救出救助、トリアージ、応急処置、搬送などの救急救助活動を実施しました。私たち市民にとって、とても頼もしい訓練となりました。

ふるさとまもり隊



三好市へは美しい自然環境を求めて、多くの観光客が全国から訪れています。しかし各観光地やアクセス道には、ポイ捨てや不法投棄も多く、観光客に対してマイナスイメージも与えています。そこで、3月23日に大歩危駅や祖谷溪周辺を清掃するイベント「ふるさとまもり隊」が開催され、観光団体やJR四国職員、地域住民など45人が参加しました。

捨てられた空き缶やペットボトルなどを拾い、チェーンソーや鎌で下草を刈ったりしました。

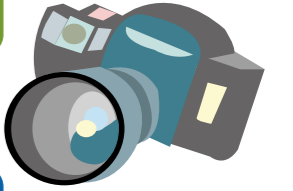
地元児童が観光プラン



3月11日、樅生小学校の3・4年生が、観光客に1泊2日の日程でゆっくりと祖谷の魅力を感じてもらおう東西祖谷観光プラン「自然たっぷり秘境祖谷かずら橋めぐり」を作り、市長へ作製したPRビデオとパンフレットを使って発表をしました。

児童が観光客に行ったアンケートでは「かずら橋以外に見るところが少なく、宿泊する必要がない」との声が多かったため、東西祖谷全域を売り込む滞在型プランを企画したそうです。

まちかど フォト ニュース



おもしろいこと、珍しいもの、
どんなことでもいいので耳より
な情報をお知らせください。

三好市役所 秘書広報課
☎0883-72-7646

かかしを地元住民が手作り

東祖谷地域を「かかしの里」として売り出そうと準備している東祖谷観光協会と住民が3月11日、かかし作りを始めました。

かかしの里は、国道沿いの畑に近くの綾野月美さんがかかし約30体を立て、観光客の人気を集めていることから、観光の目玉にしようと住民らが計画しました。参加した17名が、綾野さんの指導のもと、骨組みに綿や新聞紙を巻き、人そっくりに仕上げました。かかしは順次増やし、人目に付きやすい場所に置いていく予定だそうです。



辻の町で見つけた笑顔の秘密



この度、辻小学校4年生がマイタウンマップコンクールにおいて、経済産業大臣賞を受賞しました。このコンクールはITを活用し、自分たちが住んでいる街の暮らしや魅力などの生活情報を素材に、絵・写真・音楽などで表現した作品を募集したものです。

受賞作は「辻の町で見つけた笑顔の秘密」(下記URL)で、地域に住む6人の笑顔を紹介しています。

<http://www.mkk.ed.jp/tujisyo/egaonohimitu/>

下川マサエさんが100才



3月2日、下川マサエさん(池田町白地フコヤへ)が100歳のお誕生日を迎えられ、県や市から祝い状や記念品が贈られました。

下川さんに長寿の秘訣を聞いたところ、トイレや着替えなどの自分のことは自分でし、食べ物の油を控えるにすることだと教えてくださいました。また、縫い物や、本・新聞を読むことを趣味にしておられ、読書は眼鏡を使用しなくてもできるそうです。これからも健康でお過ごしください。

市制施行二周年記念式典



平成18年3月1日に三野町、池田町、山城町、井川町、西祖谷山村、東祖谷山村が合併し、三好市が誕生してから、早くも2年が経過しました。その市制施行2周年を記念した式典が3月16日、池田総合体育館で開催されました。

式では、市長や議長の祝辞のあと、この1年の経過をまとめたビデオ「三好市この1年」の放映、全国区で功績のあった方への表彰や、市へ貴重な絵画を寄贈をくださった方への感謝状授与などが行われました。

春を告げる定期観光バス発車



3月1日、池田バスターミナルで観光シーズンの幕開けを告げるボンネット定期観光バスの発車式が行われ、運行が始まりました。この日は運転手へ花束贈呈、関係者と乗客も加わりテープカットを行いました。バスは県内外から訪れた乗客を乗せ、手を振る関係者らに見守られながら秘境を巡る旅に出発しました。

4月からは、より秘境ムードが味わえる東祖谷を巡るコースも始まり、昼食には郷土料理も楽しむことができるそうです。

楽しいひなまつり



3月5日、池田総合体育館ではぐくみひな祭りが開催されました。これは市と三好市はぐくみクラブが開催したもので、保育所などに通っていない子どもたちと保護者が参加しました。この日は親子ともにたくさんのお友達を作ることができるということで、大変喜ばれていました。

イベントでは、おひなさまの衣装を身にまとい記念写真を撮ったり、歌やダンスなどたくさんのコーナーがあり、元気な声が会場中に響き渡っていました。

歓喜の歌声高らかに



四国第九コンサート in 三好市が3月16日、池田総合体育館で開かれました。三好市民第九合唱団を中心に県内外7団体の計約180人が、歓喜の歌声を高らかに響かせました。

県内外の交響楽団員らでつくるオーケストラの演奏で幕開けし、指揮は徳島シティーオーケストラの西野康博さんが務めました。第4楽章に入ると合唱団員は立ち上がり斉唱すると、力強い歌声が響き、約900人の聴衆は惜しめない拍手を送っていました。